

令和5年度 横浜修悠館高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を未然に防止する。	○ 職員啓発資料等をもとに職場研修を実施し、教育公務員としての自覚を促し、自覚とモラルの向上、法令順守等について徹底した。 ○ 職員相互及び管理監督者とのコミュニケーションを大切にされた職場環境づくりを進めた。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	他者の人権を尊重し、良好な職場環境の維持・確保に努め、ハラスメントを防止する。	○ 職員啓発資料等を参考にし、ハラスメントに関する理解を深めるとともに、人権意識の向上を図った。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、セクハラやわいせつ行為の発生を未然に防止する。	○ 生徒の人権についての意識啓発を行うとともに、ささいな問題でも指摘し合える職場環境づくりを進めた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重して指導にあたり、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する	○ 職員啓発資料等を参考にし、生徒の人権侵害に係る不祥事防止を周知するとともに職員の意識の向上を図った。 ○ 生徒理解に基づく指導を徹底した。
入学者選抜、成績処理及び進路 関係書類の作成 及び取扱いに係る事故防止	取組みの重点目標を「入学者選抜・成績処理業務の適切な処理」とし、実効性のある点検体制を再構築し、定めたマニュアルに基づき確実に業務を行う	○ 職員全員で点検体制や業務マニュアルを再確認し、入選業務に関する職員の共通理解を徹底した。 ○ 過去の事故事案について、職員に周知し、事故の未然防止に努めた。 ○ 保存すべき文書の保管場所・保管期間について周知徹底し、適切に行った。 ○ 気にかかることをそのままにせず、「報告・連絡・相談」を適切に行った
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報の適切な取扱いに努め、個人情報の流失を未然に防止する。	○ 情報セキュリティの点検を実施し、職員の意識の向上を図った。 ○ 個人情報の学校外持ち出しの際「個人情報校外持ち出し許可願」の提出とその後の直帰を厳守した。また、パスワードの設定等の漏洩防止対策の徹底を図った。
会計事務等の適正執行	公費は神奈川県財務規則、私費は私費会計基準に則った適正な会計事務を行う。	○ 公費・私費の適正管理に努め、相互チェック体制を徹底した。 ○ 私費会計基準に基づいた適正な会計処理を行った。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題(学校長意見)

不祥事防止については、ややもすると、職員の当事者意識が希薄になる傾向が見られる。そのため、過去の事例等を教訓とし、事故を未然に防ぐという決意で取り組んできた。

○打合せ掲示板等で、不祥事防止に関する通知や資料の掲載及び全体の周知により、意識啓発を行った。

○不祥事防止は、繰り返し指導することが不可欠である。今後も粘り強く取り組んでいきたい。